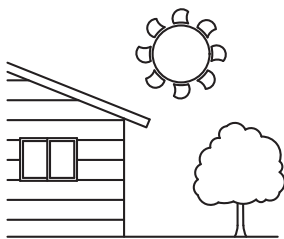


1 モエン標準施工法

1-19 シーリング工事の手順とポイント

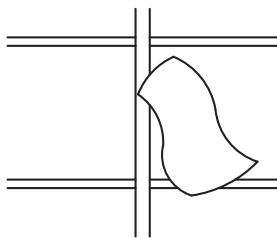
①天候確認

- シーリング工事は、施工時の気温が5℃以上の日に行ってください。
- 前日が雨天などの場合は、被着面が十分に乾燥している状態を確認のうえ、工事を行ってください。



②被着面の清掃

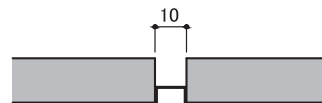
- 被着面のゴミ・油分・水分は除去します。
※被着面のゴミ・油分・水分などはシーリングの接着不良をまねきます。



③目地幅の確認

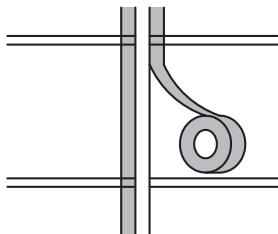
バックアップ材の装填

- モエンの厚み・施工方法に適した純正ハットジョイナーが使用されているか確認します。
- 適切な目地深さ・目地幅の確保および三面接着防止のため、純正ハットジョイナーをご使用ください。



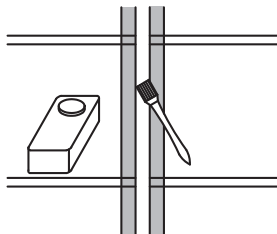
④マスキング養生

- 目地に沿って、マスキングテープを貼ってください。
- ※マスキングテープは必ず推奨品を使用しシーリング工事直前に貼ってください。
- ※マスキングテープは、モエン表面の塗膜面をすべて覆うように、柄の凹凸に合わせ、切断端部ギリギリに貼ってください。（モエン表面にシーリングが薄く伸びた状態で付着すると、短期間で白化する可能性があります。）



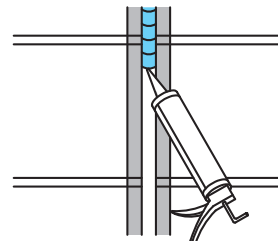
⑤プライマーの塗布

- 同梱の専用プライマーは塗り残しのないよう均一に（切断小口は特に厚く）2度塗布し、乾燥時間を30分以上とり、6時間以内にシーリングを充填してください。
- ※プライマー未塗布、他商品の使用、開封済み商品の再使用は剥離の原因となります。



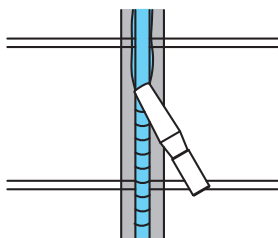
⑥シーリングの充填

- 目地幅にあわせたノズルで、気泡・打ち残し・隙間のないように、目地の隅々まで盛り上げながら、シーリングを十二分に充填してください。
- ※シーリングの充填不足は接着不良をまねきます。



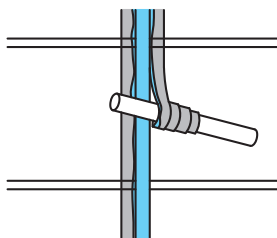
⑦ヘラ押さえ、ヘラ仕上げ

- ヘラ・ゴムなどを使用し、シーリングを押し込むようにして、表面を平滑にします。
- ※押し込みが不十分な場合、接着不良をまねきます。



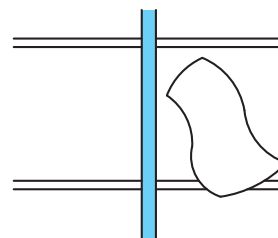
⑧マスキングテープの剥がし

- シーリングが硬化しない間に、マスキングテープを棒切れなどに巻き付けながら、丁寧に剥がしてください。



⑨清掃

- マスキングテープの糊や充填部分以外に付着したシーリングは、速やかにシーリングクリーナー（JF6000）を含ませた布で拭き取り、乾いたウエスで速やかにもう一度拭いてください。
- ※清掃が不十分な場合、変色や汚れ付着の原因となります。



注意

- シーリング面に塗装した場合、塗膜にクラックが入ることがあります。
- シーリング用汚れ付着防止スプレーは、モエン上に20cm程度の幅で霧状に飛散し、色艶むら、経年汚れ（親水性機能低下など）、経年変色などの不具合が発生する場合があります。特にニチハプラチナシールに対しては密着性も悪いいため、使用しないでください。
- ヘラ仕上げ時にシーリングをかき取りすぎると、サイディングの小口面が見える場合があります。